

2025年 2月 23日

主 日 礼 拝 午前8時半 / 10時半 / 夜7時

司 会 白川 達男兄

奏 楽

祈 禱 石井 洋子姉

賛 美 聖歌85番「み神の愛をば」

～主をあがめ/We Will Worship You～

パウロの祈り②

聖書朗読 ローマ人への手紙5章1～8節

特別賛美 韓国永楽教会聖歌隊

メッセージ 「痛みと共に与えられる神の恵み」

石井 潤 牧師

献 金 聖歌236番「望みはただ主の」

賛 美 ～主は今生きておられる～〔献金：寺澤(千)姉・渡辺姉〕

祝 禱

お知らせ 〔司会者〕

賛 美 ～主イエス神の愛～

☆礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします！☆  
《今週のお知らせ》

☆本日も礼拝の恵みを心より感謝します！昼食後は聖歌隊の練習が行われます。

★今週の祈り会は、①明朝6時。②木曜午前10時半/夜7時半。③土曜夜8時。

☆来週の日曜礼拝では誕生祝福式。(司:白川兄/祈:石井兄/献金:和田姉・寺澤(政)姉)。

昼食はカレー(大人300円/小人100円)。午後は聖書の学び会(小山姉/Ⅱペテロ2)。

<予告> 3/9(日):聖餐式/執事会 16(日):信徒懇談会(第二礼拝直後)

☆☆一年に一回聖書を完読できる！ Bible Reading Plan [2/23-3/2] ☆

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
聖書箇所	マルコ5/ 民数記1-2	5/3-4	6/5-6	6/7	7/ 8-10	7/ 11-13	8/ 14-15	8/ 16-17
チェック	0/00	0/00	0/00	0/0	0/000	0/000	0/00	0/00

## 「痛みと共に与えられる神の恵み」

～神の恵みを感じる感覚を取り戻すために…～

「それはなおも私にとって慰めであり、容赦ない激痛の中でも、私は小躍りして喜ぶ。私は聖なる方のことばを、拒んだことはない。」

ヨブ記6章10節[新改訳]

ローマ5章から学ぶことは「困難も現実だが、希望も現実である」\*ということです。そして人生における「痛み」も神からの贈り物である\*ということです。「痛み」は決して心地よいものではありませんが、もしその「痛み」がなければ、私たちは何度もその「痛み」を通して自分を傷つけてしまうだろう。そして、最終的には自分を死に至らしめ、自分を滅ぼしてしまうだろう\*。（\*マーク・バターソン「神のささやき」を参照）

聖書の中で、ツアラアト（らい病・ハンセン氏病）によって苦しむ人々がイエスによって癒された人々が登場しますが、彼らは何から癒されたのか？それは、彼らの触覚が回復されたこと。ツアラアトとは無感覚になっている状態。それは生きていく上でとても危険なこと\*。

私たちもある意味では、彼らと同じように、罪に対して無感覚になってしまっている状態であると思います。だからこそ、その罪から解放されて、救われたという神の恵みがどれほど大きな祝福であるかが分からない。ルカ7章で、多くの罪をゆるされ涙を流して、主の足を濡らし、感謝を伝えた女性が登場しますが、その女性が感じた感謝の感覚を忘れてしまっていると思う。

ローマ5章20節に書かれてあるように、「罪の増し加わったところには、恵みもますます満ちあふれた（途方もなく豊かに）」という恵みの大きさを忘れたなら、感謝も喜びもない人生になってしまう。もう一度、この恵みの大きさを受けとめ直したいと願います。そして、ヨブのように小躍りして喜ぶ信仰に生きたいと心から願います！